



大垣市政・経済記者クラブ同時配付資料

岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年1月10日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
情報科学芸術大学院大学	総務課	増田	直通 0584-75-6600 FAX 0584-75-6637

情報科学芸術大学院大学の学長に鈴木宣也現学長を再任

情報科学芸術大学院大学（IAMAS）は、令和7年1月9日に開催した教授会において、^{すずきのぶや}鈴木宣也学長の任期満了（令和7年3月31日）に伴う学長の選考を行い、同学長を再任しました。

任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間で、任命は岐阜県知事が行います。



○学長のプロフィール

【氏 名】鈴木 宣也（すずき のぶや）

【年 齢】55歳

【専門分野】情報理工学・インタラクションデザイン・ヴィジュアルリテラシー

【略 歴】

（主な学歴）

平成 6 年 3 月 慶應義塾大学環境情報学部環境情報学科卒業
平成 8 年 3 月 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了
平成 24 年 2 月 東京大学大学院情報理工学系電子情報学専攻論文博士取得

（主な職歴）

平成 8 年 4 月 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー助手
平成 13 年 4 月 情報科学芸術大学院大学助手
平成 26 年 4 月 情報科学芸術大学院大学教授（現在に至る）
平成 29 年 4 月 情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科研究科長
令和 3 年 4 月 情報科学芸術大学院大学学長（現在に至る）

（主な教育研究業績）

平成 16 年 7 月 Digital Art Festival 東京 2004、東京都知事賞 からくり ブロック
平成 22 年 10 月 情報処理学会エンタテインメントコンピューティング 2010、芸術科学会賞 エスパードミノ
平成 30 年 6 月 シーンスケッチ：具体的な描写・記述を用いたアイディエーション手法、日本デザイン学会第 65 回春季研究発表大会、グッドプレゼンテーション賞

令和 3 年 6 月 プロトタイピングへ向けたアイディエーションツールの検討、日本デザイン学会第 68 回春季研究発表大会、グッドプレゼンテーション賞
 令和 4 年 ヴィジュアルリテラシー普及にむけた基準策定とツールの開発
 令和 5 年 Collaborative Design Research Project
 (学会及び社会における主な活動)
 平成 28 年 日本バーチャルリアリティ学会 査読委員 (～平成 29 年)
 平成 28 年 ACM, SIGCHI, SIGGRAPH ASIA, Reviewer
 令和 元年 大学基準協会大学評価分科会委員
 令和 2 年 大垣市長杯全国プログラミングコンテスト審査員
 令和 4 年 「清流の国ぎふ」文化祭 2024 企画委員会委員
 令和 5 年 岐阜県DX推進コンソーシアム理事

○ 学長選考の経過

令和 6 年 11 月 26 日～12 月 5 日 学長候補者推薦期間 (1 人の候補者の推薦あり)
 令和 6 年 12 月 19 日 学長適任者選挙の公示
 令和 7 年 1 月 9 日 午前 学長適任者選挙の信任投票
 〃 午後 教授会において、学長適任者選挙の結果に基づき学長を選出

情報科学芸術大学院大学の概要

情報科学芸術大学院大学 (以下「大学院大学」という。) は、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー (平成 8 年 4 月開学。以下「アカデミー」という。) のアートアンドメディア・ラボ科を改組・発展させて、平成 13 年 4 月に開学した。

大学院大学は、その理念として「科学技術と芸術の融合」を謳い、学際的・超領域的な分野を開拓し、情報社会の IT を駆使した最先端メディアの可能性を追求し、情報社会の新しいあり方を創造的に開拓する「高度な表現者」の育成を目指している。

平成 26 年度には、キャンパスをソフトピアジャパン地区に移転し、先進的なアイデアによって地域も巻き込みながら新しい表現を実践し、新しい文化を生み出すという使命のもと、さらなる一步を踏み出した。

また、令和 3 年 4 月から修士課程を博士前期課程に変更し、博士後期課程を新設した。

・設置者：岐阜県

・所在地：大垣市加賀野 4 丁目 1 番地 7

・学 長：坂根 厳夫 (平成 13 年 4 月～：名誉学長)、横山 正 (平成 15 年 4 月～)

関口 敦仁 (平成 21 年 4 月～)、吉田 茂樹 (平成 25 年 4 月～)

三輪 眞弘 (平成 29 年 4 月～)、鈴木 宣也 (令和 3 年 4 月～)

・学生数：65 人 (休学者含む)、専任教員数：19 人 (令和 6 年 4 月 1 日現在)

・組 織：メディア表現研究科 (1 研究科 1 専攻)、産業文化研究センター、図書館